

< 検査内容変更のお知らせ >

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、下記項目におきまして、検査内容の一部を変更させていただきますのでご案内申し上げます。

誠に勝手ではございますが、弊社事情ご賢察のうえ、ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

《検査内容変更項目》

● 実施日 平成29年1月4日（水）受付分より

項目コード	項目名	変更箇所	新	現	備考	検査案内記載頁
2041	HTLV- I 抗体 (ATLA抗体) スクリーニング	項目コード	2701	2041	特異度の高い 試薬への変更 ※1、※2参照	97
		検査方法	CLIA [アボットジャパン]	CLEIA [富士レピオ]		
		基準値	陰性 (-) 1.00 S/CO未滿	陰性 (-) 1.0 カットオフインデックス 未滿		
		単位	S/CO	カットオフインデックス		
		所要日数	3~4日	4~5日		
2380	TARC	所要日数	3~4日	4~7日	アッセイ頻度の 見直し	106

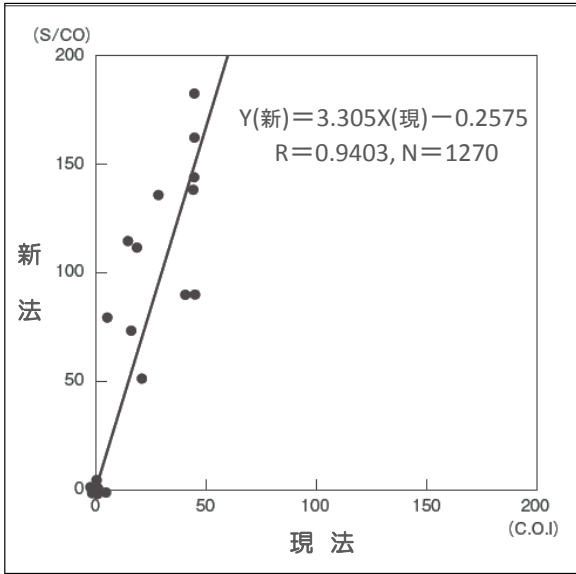
※1：本検査では、抗HTLV- I 抗体および抗HTLV- II 抗体の検出が可能です。
(型別の報告は出来ません。)

※2：現法と新法の比較については裏面をご参照ください。

● 実施日 平成29年1月6日（金）受付分より

項目コード	項目名	変更箇所	新	現	備考	検査案内記載頁
2421	尿中NMP22 (尿中核マトリック スプロテイン22)	所要日数	3~5日	5~7日	所要日数の短縮	85

● HTLV-I 抗体 現法と新法の比較



		現法		
		(+)	(-)	計
新法	(+)	12	1	13
	(-)	8	1249	1257
	計	20	1250	1270

陽性一致率：60.0% (12/20)
 陰性一致率：99.9% (1249/1250)
 判定一致率：99.3% (1261/1270)

新・現法で結果が乖離した9検体は確認試験（ウエスタンブロット法）の結果、それぞれ陰性と判定されました。非特異反応による偽陽性と考えられます。

(委託先検討資料)